

The  
Story Of  
Accounting

Special Editon

公認会計士 望月 実

## まえがき

「世界を知るためには、世界を数えなければならない。」

このセリフは石田衣良氏の代表的な作品である「池袋ウエストゲートパークストーリー」の一場面に使われた言葉ですが、私はこの言葉の中に会計の本質を感じました。

世の中は情報化社会になり、インターネットから簡単に情報を入手することができるようになりました。しかし、情報量が増えれば増えるほど、世の中が混沌としてくるように感じるのは私だけでしょうか。

世の中はますます複雑になり、情報が溢れています。ばくぜんと世の中を見ているだけでは、情報の波に飲み込まれ本質が見えなくなってしまう。社会を理解するためには、断片的な情報の積み重ねではなく、世の中で起こったことを客観的な数値として認識することが有効です。資本主義社会では、人々の活動と共にお金が動きます。投下した資金を企業活動にどのように役立てたかを測る「ものさし」である会計をマスターすれば、いまよりもクリアに世の中が見えてくるようになります。

最近では新聞の記事に会計用語が頻繁に使われるようになり、経済のニュースを理解するためにも一定レベルの会計知識が必要となってきました。また、会計の重要性が高まったため、ビジネスマンが身につけるべきスキルとして「英語」「パソコン」に加えて「会計」があげられるようになりました。

会計を学ぶために入門書を読まれた方も多いと思いますが、会計が実際の経済や経営とどのように結びついているかというイメージを持つのは難しかったのではないのでしょうか。会計は道具であり、道具は使い方を覚えてこそ価値があります。そこで、本書では起業家がビジネスを通じて成長していくというストーリーに基づいて会計の基本を説明することにより、会計が経営とどのように結びついているかが理解できるようになっています。

さらに、簿記とキャッシュフロー計算書の基本的な作成方法も説明してありますので、実際の会計数値の作成過程も理解していただければと思います。会計を必要とし、主体的に学びたいという意欲のある方が楽しめるような構成となっています。

また本書は会話形式を取り入れており、中尾君（ストーリーの主人公）が読者の立場から「自然な疑問の提示」や「情報のまとめ」を行っています。読者が中尾君という媒体を使って一つ一つの論理展開を適切に消化することにより、内容が深く理解できるように工夫してあります。論理的に理解することにより、初めて会計を道具として使えるようになります。

企業は会計上の数値で判断されるため、会計上の数値が良くなるような行動をとります。それが時として、現実の経済に大きな影響を与えることがあります。そこで、コラムの中では経済のニュースで取り扱われている、会計に関するトピックを説明してあります。

銀行は貸し渋りを批判されているにもかかわらず、なぜ手元資金で企業に貸し付けを行うのではなく国債を購入するのでしょうか？

また、なぜバブル期にもてはやされた企業が現在苦しんでいるのでしょうか？

その答えはコラムの中に書いてあります。コラムを読むことによって会計が経済とどのように結びついているかを実感していただけたらと思います。

会計は一見複雑に見えますが、本質はとてもシンプルです。

ただし、私自身会計がシンプルであることに気が付くまでは、大分時間がかかりました。実際に自分が実務を行い、経営と会計の有機的關係が見えるようになって初めて会計がシンプルであると感じるようになりました。

そこで、私が会計を勉強し始めたときに、最も読みたかった会計の全体像を楽しくシンプルに説明した本を書かせていただきました。

なお、この本は私の周りのたくさんの方々に支えられて陽の目を見ることになりました。協力して下さった方に心より感謝します。

望月 実

## 本書の利用に関する注意事項

本書は公表されている会計基準、実務指針、意見書、解説書等を参考に、筆者の解釈のもとに作成しています。この本は、会計の本質をできるだけ楽しく簡単に理解していただくことを目的にしています。複雑な概念をできるだけ簡単に説明することを目標としているため、正確性及び網羅性の観点からは不完全な部分もあります。

実務における会計上の判断は、現実には発生した事象をどのように解釈するかによって異なります。また、現在の会計及び経済環境は日々目まぐるしく変化しているため、実際の会計処理を行う際には本書に全面的に依存するのではなく、担当の会計士・税理士等の会計専門家にご相談下さい。

## 目 次

<b>第1章 スタート・アップ</b> .....	<b>6</b>
エンジェルとの出会い.....	6
プロジェクトチーム.....	17
<b>第2章 会計の基本編</b> .....	<b>21</b>
1. 株式会社と会計の関係.....	22
2. 財務諸表の内容（PART1）.....	25
3. 簿記の仕組み.....	32
4. キャッシュフロー計算書の仕組み.....	44
5. 財務諸表の内容（PART2）.....	52
①貸借対照表.....	53
②損益計算書.....	57
③キャッシュフロー計算書.....	59
④利益処分計算書.....	67
<b>第3章 実践編</b> .....	<b>68</b>
P H A S E 1（会社の設立）.....	69
コラム①（プライシングが利益に与える影響）.....	75
P H A S E 2（現金売上）.....	77
コラム②（バブル期の良いB/S、デフレ期の良いB/S）.....	86
P H A S E 3（信用売上）.....	93
コラム③（会社の値段）.....	102
P H A S E 4（運転資金の不足）.....	108
コラム④（リストラの手法）.....	114
P H A S E 5（事業用設備の購入）.....	121
コラム⑤（金融資産と事業資産の評価）.....	134
コラム⑤-1（固定資産の減損会計）.....	137
P H A S E 6（貸し倒れ発生）.....	141
コラム⑥（不良債権と貸し渋りの関係について）.....	148

PHASE 7 (店舗を借りる) .....	151
コラム⑦ (債務超過?) .....	157
PHASE 8 (社員の採用) .....	161
コラム⑧ (退職給付会計) .....	167
PHASE 9 (有価証券の購入) .....	181
コラム⑨ (有価証券の時価評価) .....	186
PHASE 10 (決算) .....	190
I. 月次の会計処理 .....	191
II. 決算整理仕訳 .....	195
III. 税金計算 .....	199
IV. 税効果会計 .....	207
V. 財務諸表の作成 .....	214
コラム⑩ (繰延税金資産の回収可能性) .....	220
<b>第4章 コミュニケーションツールとしての会計 .....</b>	<b>225</b>
1. 会計の機能 .....	227
2. 日本企業の資金調達の形態 .....	228
3. ディスクロージャー .....	230
4. 会計ビックバン .....	233
5. 日本の会計基準 .....	235
6. 国際会計基準 .....	237
7. 企業の開示書類 .....	241
コラム⑪ (公的資金の注入と市場の評価) .....	243
あとがき .....	249
主要参考文献 .....	251